

地域通貨（TR）運営委員会第10回会議レポート

1. 開催日時：平成24年4月19日（木）午後1時より2時30分まで
2. 場所：富岡市生涯学習センター・第4学習室にて
3. 出席者

富田顕嗣委員・高間弘文委員・小川哲郎委員・長典男委員
浅川高広委員・時田由紀監査・林健太郎事務局長代行
木島幸洋（オブザーバー）・・・以上8名

4. 欠席者

宮澤展彦委員長・・・市議会の為
高橋忠宏副委員長・・・車両トラブルの為
秋山昌律委員・・・仕事のため
小山涉一委員・・・店の都合のため
高間一幸委員・・・生産者会議の為
草場史子委員・・・仕事の為

5. 内容

- ① 司会進行・・・林事務局長代行
- ② 開会の挨拶・・・高間弘文委員
- ③ 会議（議長：高間弘文委員）
【議長選任について】・・・林事務局長代行

・委員長及び副委員長不在につき、議長の選任を図ったところ、出席者より高間弘文委員の指名がありました。
そこで、賛否を委ねたところ、満場一致で高間弘文委員に決まりました。

【TR 会議に対する起案の質疑応答】

- ・「感謝の TR」の有効期限を 3 カ月とする。
- ・今までの出欠に関し、一度リセットする。尚、「お詫びの TR」が多い方（宮澤・高橋・富田・小山の 4 名）に対するけじめは事務局へ一任する。
（けじめの処置：対象者からの申し出が強いため）
- ・当該ルールの開始は、次回（11 回）からとする。
- ・暫定 TR 券を事務局にて発行する。

【TR 会議に対する起案の採決】

- ・議決有効票数 13 口
委任による票数：2 口
書面による票数：5 口
出席票数：6 口
（議決権なし：2 口）
- ・全員賛成で可決しました。

【TR 試案に対する質疑応答】

- ・時間の都合上、フリートーキングとなりました。
- ・TR の価値基準などに話題が集中し、活発な論議が交わされました。
- ・TR の使用範囲を 3 つのケースに分けることなどが、次回のテーマに成りそうです。
 - ① TR 全部を使用できるもの（経済とリンクしない価値）
 - ② TR の半分程度を使用できるもの（経済とのリンク度が中途な価値）
 - ③ TR の数%を使用できるもの（経済とのリンク度が多い価値）

6. 事務局より連絡事項

- ① 5 月 16 日（水）・午後 1 時より午後 2 時 30 分まで・生涯学習センターにて
- ② 議題は TR 試案に対する質疑応答などです。（都合によって変更もあります）

7. 閉会の挨拶

議長

8. 所見

・・・TR 会議の新ルールだけでもいろいろな意見がでるように、実際の TR 開始までには、幾多の壁を乗り越えていかなければならないことがおぼろげに見え始めた気がします。ただし、今回の TR 会議の新ルールが可決したことは大きな前進と思えます。実際、期せずして TR の実験を直接試みできることや対外的に TR 活動を知らしめる効果が期待できることなど表向きの効用もありますが、なによりも運営委員会の在り方に一石を投じたこと（裏の効用）は計り知れないもの（感謝とお詫びが人間同士の絆の原点である）と時間が経過すればするほど参加者の胸の内から湧き上がってきそうな気がします。実は、この精神が TR の根本なのですが・・・

※このレポートは議事録ではありません。あくまでもホームページ用に作成したダイジェスト版であることをご理解下さい。